

川口市立医療センター経営改革プラン 2021-2023 (案) 【概要】

1. 基本事項(第1章1.1) 本編 P1・2

位置づけ	当センターの基本理念やめざす姿を実現するための取組を定めた「川口市立医療センター経営改革プラン2017-2020」の次期計画として策定するものです。
期間	令和3年度から令和5年度まで(3年間)
計画の点検・評価・公表	毎年度終了時、本計画を点検・評価したうえで、国民健康保険運営協議会、開放型病床運営協議会で審議するとともに、病院ホームページ等で公表します。

2. 理念、めざす姿、基本戦略(第1章1.2、1.3、1.6) 本編 P3・7

基本理念	市民に信頼され、安全で質の高い医療を提供します。
めざす姿	地域の基幹病院として高度な急性期医療を提供します。
病院全体の戦略	スタッフ 組織マネジメント改革の推進、働きやすい職場の創出により、医療従事者の確保を進めるとともに、タスクシフティングやICT等の活用により、 生産性向上 を実現します。
	機能 自治体病院・地域医療支援病院として、保健行政とも情報共有しながら、南部区域に不足する機能を充足させることで、 医療機能の更なる高度化 を実現します。
	経営 DPC特定病院群としての役割を果たし、適正な診療報酬の確保に努めることで、 継続的な医療提供能力の最大化 を実現します。

3. 部門戦略(第2章) 本編 P10~14

診療部門	スタッフ	高度・専門医療に必要な医師を確保し、医師事務作業補助者やコメディカルスタッフへのタスクシフティングを進めます。
	機能	・ 内科系 : 外科系専門医との院内連携、チーム医療を推進し、重症患者が受入可能な体制を継続します。 ・ 外科系 : 高度手術が対応可能な専門スタッフの採用と、内科系専門医との院内連携、チーム医療を推進します。 ・ 救急 : 外科系ERシステムと、内科系各診療科と総合診療科との連携による救急受入体制の維持・更なる充実を図ります。
	経営	予定入院患者を確保し、DPC入院期間Ⅲ・Ⅳ超患者の縮減を図ります。
診療支援部門	スタッフ	スタッフの確保・育成を図るとともに、専門スタッフを活用したタスクシフティングを推進します。
	機能	専門スタッフ、最新医療機器、チーム活動を活用した役割拡大や効率的なサービス提供、質向上を実現し、新型感染症にも対応します。
	経営	DPCベンチマークデータを活かしたコスト適正化、チーム活動や専門委員会を起点に多職種連携を強化することで適正収益を確保します。
看護部門	スタッフ	安全で働きやすい職場環境と積極的な採用により「急性期一般入院料1、夜間看護配置12対1」を常時算定し、チーム活動を推進します。
	機能	高度医療提供に必要な専門スタッフの採用を進めるとともに、専門スタッフ育成の教育環境とチームによる活動の更なる充実を図ります。
	経営	「急性期一般入院料1、夜間看護配置12対1」の常時算定やチーム医療の充実など、診療報酬改定に対応することで適正収益を確保します。
事務部門	スタッフ	東京近接の立地、公務員希望の堅調さを捉え、医師事務作業補助者を確保し、受託企業とパートナーシップによる独自能力を強化します。
	機能	タスクシフト、高度情報化・ICTを活かし、医師事務作業補助、連携担当、行政職員、受託企業が一体で医療機能の高度化を実現します。
	経営	一般会計負担金、高額機器費用、各種補助金など行政支援を基に、ICT、DPCベンチマークを用い、事務の体制を強化します。

4. 重要評価指標(第1章1.6、2章、3章) 本編 P7・10~22

■病院全体の戦略に係わる重要評価指標		← 計画値 →				
No	第1章1.6	R1(実績)	R2(計画)	R3	R4	R5
1	ベッド回転率(人/床/月)	2.62	2.88	2.90	2.83	2.83
2	入院単価(円)	65,231	75,217	75,000	76,399	76,539
3	DPC医療機関群	標準病院群	標準病院群	標準病院群	特定病院群	特定病院群
4	新入院患者数(人)	13,530	14,136	13,972	14,283	14,377
5	経常収支	赤字	黒字	黒字	黒字	黒字

■各部門の戦略に係わる重要評価指標(重複する上記重要評価指標を除く)		← 計画値 →				
No		R1(実績)	R2(計画)	R3	R4	R5
□スタッフ 第2章2.1.1・2.2.1・2.3.1・2.4.1						
6	DPCⅢ・Ⅳ超え入院患者割合	30.1%	27.6%	25.0%	25.0%	25.0%
7	多職種によるチーム活動数	14	14	14	15	15
8	病棟の看護師配置(7対1)	必要数配置	必要数配置	必要数配置	必要数配置	必要数配置
9	病棟の看護師配置(夜間12対1)	2か月配置	5か月配置	6か月配置	10か月配置	常時配置
10	常勤職員数(人)	820	定数確保	定数確保	定数確保	定数確保
11	医師事務作業補助者配置(人)	13	18	20	26	34
□機能 第2章2.1.2・2.2.2・2.3.2・2.4.2						
12	紹介患者数(人)	15,184	14,136	16,384	17,584	18,784
13	手術件数(件)	5,688	4,446	6,500	6,500	6,500
14	入院時支援加算算定数(件)	1,637	876	1,663	1,915	2,267
15	ISO15189の認定	一部認定	一部認定	全分野認定	全分野認定	全分野認定
16	特定看護師数(人)	1	1	3	5	7
□経営 第2章2.1.3・2.2.3・2.3.3・2.4.3						
17	診療支援に係わる出来高収益(百万円)	2,365	2,322	2,426	2,469	2,485
18	急性期一般入院料1算定	常時算定	常時算定	常時算定	常時算定	常時算定
19	看護職員夜間12対1配置加算1算定	2か月算定	5か月算定	6か月算定	10か月算定	常時算定
20	経常収益(百万円)	16,735	17,955	18,049	18,358	18,516

■事業計画に係わる重要評価指標(重複する上記重要評価指標を除く)		← 計画値 →				
No	第3章3.1・3.2・3.3・3.4・3.5・3.6	R1(実績)	R2(計画)	R3	R4	R5
21	川口市医師会員に占める登録医割合	40.7%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%
22	紹介率(地域医療支援病院)	78.6%	89.8%	90.0%	90.0%	90.0%
23	逆紹介率(地域医療支援病院)	73.2%	83.9%	84.0%	85.0%	85.0%
24	救急車受入数(件)	7,281	6,285	7,402	7,402	7,402
25	二次救急の応需率	73.5%	69.3%	75.0%	75.0%	75.0%
26	救急搬送患者の入院率	48.4%	50.4%	51.0%	53.0%	53.0%
27	院内トリアージ実施体制	未整備	未整備	計画	整備	整備
28	緩和ケア病棟の設置(床)	計画	準備	18	18	18
29	無菌治療室の増床(床)	1	1	9	9	9

■主要指標(重複する上記重要評価指標を除く)		← 計画値 →				
No	第4章4.2	R1(実績)	R2(計画)	R3	R4	R5
30	入院患者数(人)	171,322	180,166	160,693	167,663	169,173
31	病床利用率(退院含む)	86.8%	91.6%	86.3%	90.1%	90.6%
32	病床利用率(退院除く)	80.2%	84.4%	78.8%	82.4%	82.9%
33	退院患者数(人)	13,538	14,136	13,980	14,291	14,385
34	平均在院日数(日)	11.7	11.7	10.5	10.7	10.8
35	緩和ケア病棟の利用率	—	—	43.6%	75.0%	75.0%
36	緩和ケア病棟の入院単価(円)	—	—	52,070	52,070	52,070
37	外来患者数(人)	298,415	293,479	269,807	269,712	269,617
38	外来単価(円)	14,914	15,680	16,945	17,004	17,080

5. 事業計画(第3章) 本編 P15~22

項目	← 計画値 →		
	R3	R4	R5
3.1 スタッフの確保、活用、タスクシフティング			
取組	□スタッフの確保 □各スタッフの専門性発揮に向けた連携、タスクシフティング推進		
時期	R3	R4	R5
収支影響	▲506百万円	▲383百万円	▲326百万円
3.2 地域連携の推進			
取組	□地域医療機関とのシームレスな連携推進 □患者が円滑に転院、退院、逆紹介ができる運用整備		
時期	R3	R4	R5
収支影響	417百万円	508百万円	600百万円
3.3 救急受入体制の整備			
取組	□24時間安心して受診できる、断らない救急医療体制の構築 □高度、急性期医療を必要とする救急患者の効率的な確保		
時期	R3	R4	R5
収支影響	320百万円	507百万円	507百万円
3.4 DPC特定病院群への移行			
取組	□手術室スタッフの確保・育成 □手術症例の確保・拡大、高度専門医療の対象となる外科的治療の提供 □各スタッフの専門性発揮に向けた連携、タスクシフティング推進		
時期	R3	R4	R5
収支影響	485百万円	653百万円	662百万円
3.5 先進の高額医療機器の購入、更新			
取組	□高度専門医療に必要な新規の医療機器の導入検討 □既存の医療機器の計画的な更新		
時期	R3	R4	R5
収支影響	▲51百万円	▲151百万円	▲251百万円
3.6 病棟・施設の整備、活用			
取組	□病棟、病室の整備 □PFM(Patient Flow Management)による入退院調整機能の強化		
時期	R3	R4	R5
収支影響	97百万円	316百万円	317百万円

6. 収支計画(第4章) 本編 P23~25

	R2(予算)	← 計画値 →		
		R3	R4	R5
経常収益(百万円)	19,842	19,614	19,911	20,068
医療収益	17,955	18,049	18,358	18,516
入院収益	11,921	12,052	12,809	12,948
外来収益	4,590	4,671	4,685	4,704
その他医療収益	1,443	1,327	864	864
医療外収益	1,887	1,564	1,552	1,552
経常費用(百万円)	19,830	19,602	19,899	20,056
医療費用	19,215	19,026	19,324	19,481
医療外費用	615	575	575	575
経常損益(百万円)	12	12	12	12